

令和6年7月30日

「令和5年度自己点検・評価に係る学校関係者評価委員会」

1. 学校法人国際総合学園 国際情報工科自動車大学校における「令和5年度自己点検・評価」は、令和6年7月8日に前年度の点検評価結果に係る改善内容も視野に入れ、自己点検・評価を実施し、令和6年7月25日に学校評価委員会4名（欠席2名）に対し学内職員3名で報告を行い、本書のとおり報告書をまとめた。
本校の自己点検・評価については一般社団法人全国専門学校教育研究会の策定した、自己点検・評価報告書「作成ハンドブック・作成マニュアル」を基本に進めた。
2. 全国専門学校教育研究会版「作成マニュアル」の自己点検・評価基準をベースに、自己点検・評価を行い、その結果を根拠資料と共に提出。その過程において、不備な点等の改善について、今後の方向性を協議するとともに、次年度以降の取り組み課題とした。
3. 今後の課題として、令和5年度学校関係者評価を受け一定の方向性を持って、学校評価を進めて行くことにより、本校における質の保証・向上のなお一層の取組充実が図れるよう努めていきたい。

学校関係者評価報告書（「学校関係者評価委員会」報告）

1 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

自己点検・評価 3.6 学校関係者評価 3.6

1) 教育理念（建学の精神）

（教育理念）

「将来の職業に関する高い専門能力を追求しながら単に知識・技術教育に偏ることなく、広い視野と豊かな人間性を持った、創造性に満ちた人材育成の場」であることを教育の基本理念とし、常に変化していく時代に即した工学系専門教育機関として、地域社会の振興はもとより、国際社会の発展に寄与するものである。

2) 教育目的・教育目標

教育理念（見学の精神）・目的・目標は他者が確認できる状況を構築しており、1から3は達成している。4と5についてもほぼ適切に提示・公表できていると考えている。

■評価委員からの意見・質問等

「1 建学の精神・教育理念・教育目的・教育目標」についての意見・質問等はなかった。

2 教育の内容

自己点検・評価 3.3 学校関係者評価 3.3

1) カリキュラム作成等

昨年度に引き続き、カリキュラム編成、シラバス作成は滞りなく計画的に実施されているため継続して取り組む。

7項の「各教員からの提出」に関して、担当教員を決め必要なシラバスが提出されていることから評価を修正。

2) 学習プロセスの改善

毎年行っている「学生アンケート」を計画的に実施し結果に基づく面談の実施にとどまっているため、教育の質向上のためにもアンケート結果に基づく研修の実施を検討していく。

3) 業界ニーズに対応した付加的教育

21項の「他の高等教育機関との連携講座等を行っているか」について姉妹校との合同イベントを開催。イベントを足掛かりとして合同カリキュラム等の検討を行っている。

4) 教職員の資質の維持や向上

教員の研修については計画的に実施され、各業界の新技术研修会にも参加している。継続して研修を実施し質の向上に努める。

■評価委員からの意見・質問等

- ・21項について姉妹校との連携イベントが対象学科の学生全員参加であれば評価を上げて問題ないとの意見を頂いた。今後はイベントの合同開催のみならず合同カリキュラムも検討する。

3 教育の実施体制

自己点検・評価 3.8 学校関係者評価 3.8

1) 教育環境の整備・活用

ほぼ適正に整備されている。項目3では校舎内に図書室が設置されていないことと、委員からの助言もあり各教室の一角に設置を行っている。

項目5については、教室数の問題から、専用場所は設けていない。

以前の委員会でWebでも“場所”になるのではとの意見を頂き Microsoft teams を使用し就職情報についての情報が閲覧できるよう整備している。

■評価委員からの意見・質問等

- ・「3教育の実施体制」についての意見・質問等はなかった。

4 教育目標の達成度と教育効果

自己点検・評価 3.8 学校関係者評価 3.8

1) 教育目標の達成に係る取組と評価

目標設定・共有・記録・公表については適正に行われている。

20 及び 21 の項目については過年度からの課題。

就業状況の確認について同窓会との連携方法を検討したが、同窓会でも個別の状況は把握していないため別の方法を検討する。

■評価委員からの意見・質問等

- ・項目 20 について 1 年後の就業状況の把握は学校のカリキュラムが現場で活かされているか確認するためかとの質問があり、カリキュラムの確認と離職率の確認のためと回答。
- ・項目 21 について公表に関しては母数が約 200 名程度と少ないため、個人が特定されないよう公表しない方針をとっても良いとの意見があり、今後の対応について検討する。

5 学生支援

自己点検・評価 3.3 学校関係者評価 3.3

1) 入学前から卒業後までの学生支援の整備（入学時）

入試から入学まで基本的な学生支援は構築できている。

2) 入学前から卒業後までの学生支援の整備（在学時）

入学から卒業までの基本的な学生支援はできているが、項目 10 のキャリアカウンセラーがいないため今後の対応について検討が必要

3) 入学前から卒業後までの学生支援の整備（卒業後）

卒業後については同窓会を通じて基本的な支援を行っている。項目 20 についても卒業生のためにセミナーを開催し支援を行った。

4) 上記以外を通じての学生支援

基本的な支援はできているが、項目 23、24 については後援会等の必要性について検討中。

■評価委員からの意見等

- ・項目 10 についてすぐにキャリアカウンセラーが必要な状況にないことと、ハロワークと連携し相談ができる体制があるため評価を上げて良いとの意見を頂いた。必要性の再確認と配置の検討を行う。

6 社会的活動

自己点検・評価 2.8 学校関係者評価 2.8

1) 意図的・計画的・組織的に社会活動への取組

項目 5 についてはドローンスペシャリスト科の学生が、地元企業への貢献として、郡山市と連携し、Z 世代が作る企業 PR 動画作成事業に授業として参加。地元企業の PR 活動を実施。作成した動画を科目評価の一部とした。

■評価委員からの意見・質問等

・「6 社会的活動」についての意見・質問等はなかった。

7 管理運営

自己点検・評価 4.0 学校関係者評価 4.0

1) 学校の管理・運営体制の確立

基本的な管理・運営体制は確立されている。

■評価委員からの意見・質問等

・「7 管理運営」についての意見・質問等はなかった。

8 財務

自己点検・評価 4.0 学校関係者評価 4.0

1) 財務の健全な運営

予算計画、執行、会計において公正に運営されている。

■評価委員からの意見・質問等

・「8 財務」についての意見・質問等はなかった。

9 改革・改善

自己点検・評価 3.8 学校関係者評価 3.8

1) 自己点検・評価活動の実施体制確立と改革・改善のためのシステム構築

自己点検・評価は平成 25 年度より継続しており、報告書の作成と共に、毎年適正に HP で公表している。

■評価委員からの意見・質問等

・「9 改革・改善」についての意見・質問等はなかった。

その他

■評価委員からの意見・質問等

- ・全体を通じて適切に自己評価できているが評価を上げてもよい項目もあるため、必要性を考慮し評価をするとともに、実施しない方針として決めることも大切との意見を頂いた。次回の自己点検についても適切に評価できるよう努めていく。

以上

◆学校関係者評価委員

- ・ I G D A 日本 副理事長
- ・ 公益財団法人 福島県建築士会
- ・ 福島大学 教授
- ・ 有限会社 山ノ井商事 代表取締役

◆学校側報告者

- ・ 副校長 阿部 一則
- ・ 事務局長 星 明彦
- ・ 教務部長 鈴木 友二